

## ■ 邑久大工の建築図面

この展示では、江戸時代後期から明治時代を中心とする時期に、備前と美作を中心とする岡山県内（および香川県東部）で活動した邑久（おく）大工の活動を、当館へ寄贈（一部寄託）された資料によって紹介しています。

昭和の終わり頃から全国規模で社寺建築の調査が進展し、その中で、高度な技量を持ちながらも純然たる農村地域に住み、各地へ出張して建築工事に携わった宮大工集団の存在が明らかになってきました。瀬戸内では、岡山県の邑久大工、香川県の塩飽大工、山口県の大島大工などがよく知られていますが、彼らは在方（ざいかた）集住大工と呼ばれるようになり、さまざまな研究が始まっています。

在方集住大工の起源についてはさまざまな説や考え方がありますが、江戸時代における城下（町方）と地方（在方）の二元支配によるところが大きいです。藩の施設や城下の建築工事は大名お抱え大工や町方の大工が担いましたが、地方にも古代・中世以来栄えてきた大規模な寺院や神社があり、そうした施設の普請は在方大工がおもに担ってきました。

現在の岡山市東区と瀬戸内市にまたがる岡山県邑久（おく）郡内の村々に居住し、備前と美作を中心とする地域で活動した邑久大工は、現存する建築物の棟札に記された銘を調べることによって明らかにされたところでは、17世紀から上山田村（瀬戸内市邑久町上山田）の尾形家の棟梁が活躍し、18世紀後半からは宿毛村（岡山市東区宿毛）の田淵家から優れた棟梁が輩出しました。彼らは木挽き職人、大工、小工（装飾部材など建築の細部を仕上げる職人）、屋根ふき職人、左官、各種の図案を担当した画工など、多種多様な職人たちを統率し、建築工事にあたりました。

邑久大工は、曹源寺三重塔（岡山市中区）、安住院多宝塔（岡山市中区）、余慶寺（瀬戸内市邑久町）、弘法寺（瀬戸内市牛窓町）、西大寺牛玉所殿（岡山市東区）、志呂神社本殿（岡山市北区）など、各地の建物に名前を残しています。

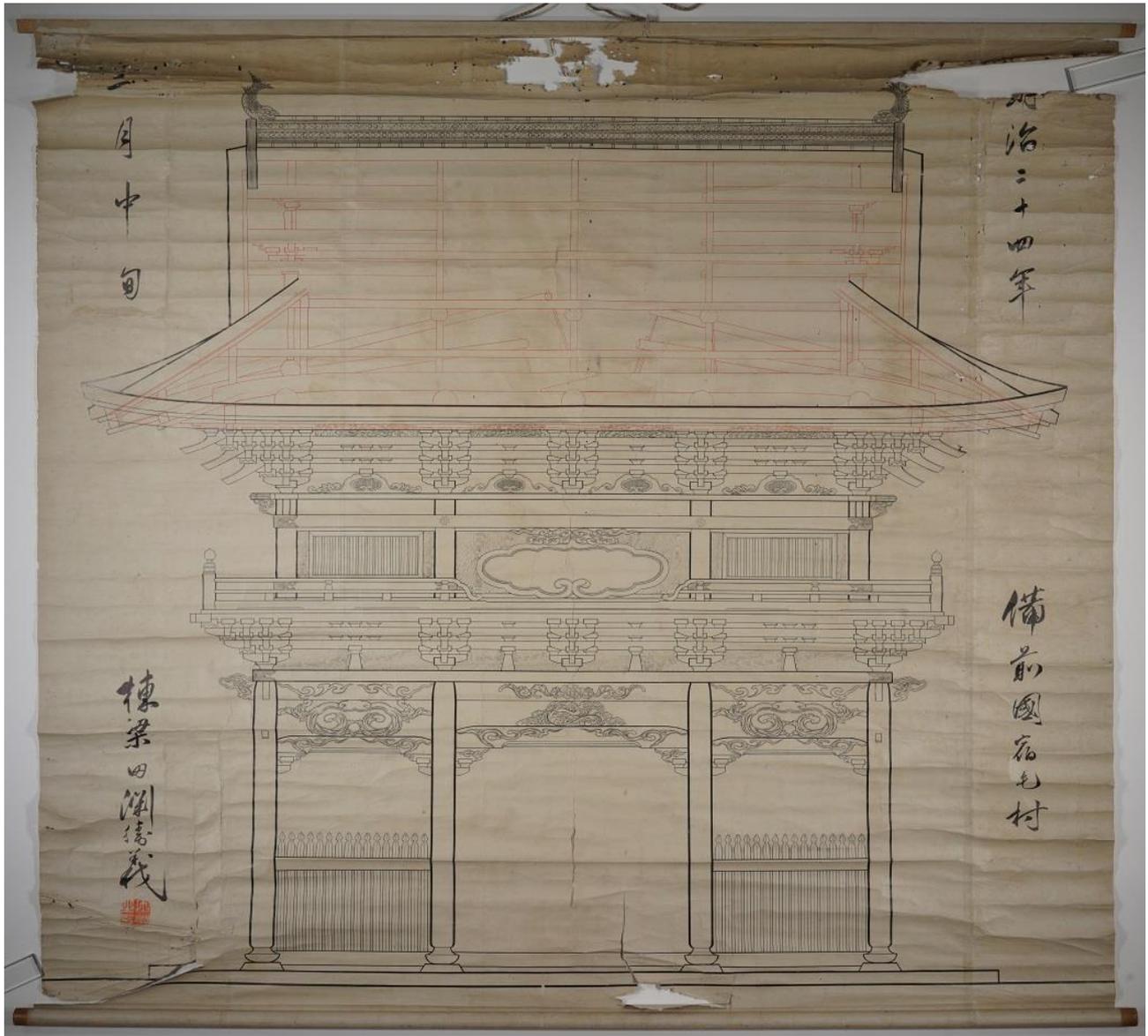
このたびの展示では、平成20年度に当館へ寄贈（一部寄託）された邑久大工棟梁・田淵家の資料（目録では約200点、今回細かく数え直して判明した実数は400点余）から91点を選んで紹介しております。

田淵家の代々の棟梁は、江戸時代後期にあたる18世紀後半から明治期まで、岡山県内の主要な寺社の建築工事に名前を残していますが、とりわけ当館の田淵家資料には明治期の名匠、田淵勝義の関係品が多数含まれています。この展示でも田淵勝義が作成した建築の図面を中心にして、文政年間以来の歴代の田淵家の棟梁（田淵勝芳、勝永、勝義、章敏）や、画工を務めた藪田乙吉らの名前のある図面や下絵などの関係資料を展示しています。中でも圧巻は、大きなものでは幅2メートルに達する社寺などの建築の設計図面で、息をのむほど正確な線が毛筆で描かれているとともに、建物の正面図と側面図、および断面図を1枚の図面にまとめて表すなど、近代に欧米から導入された設計図法とは異なる、日本古来の図

面の描き方がわかって興味深いものもあります。

展示品では、かつて岡山市の中心街に大規模な伽藍が聳え立っていましたが、惜しくも戦災で焼失した蓮昌寺（岡山市北区田町）の建築群を構成していた建物の中から、田淵勝義によって明治期に再築されていた仁王門の立面図（明治24年）などの資料を出品しています。また、現在も尾道市の中心部に建っている浄泉寺の本堂に関する諸図面（明治20年代）や、戊辰戦争以来の岡山県内の戦没者追悼のために設けられた招魂社（現在の岡山県護国神社）の明治期の様子がうかがえる図面など、歴史資料として貴重な建物図面を多数展示しています。

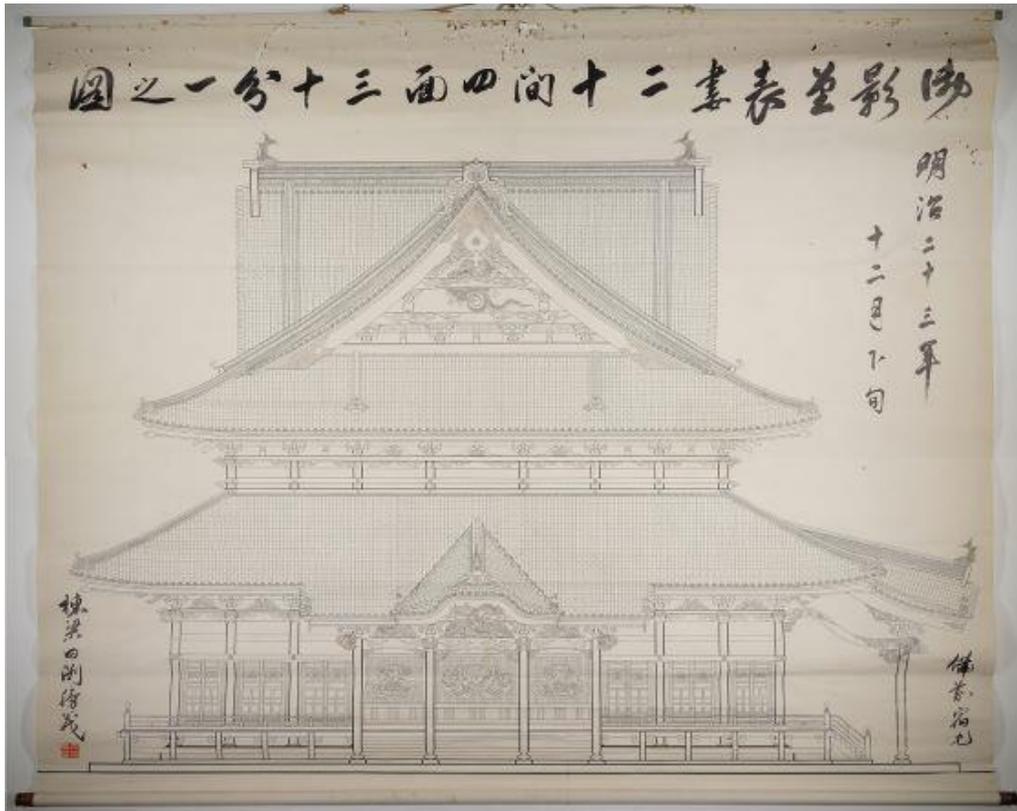
また、岡山の祭礼で用いられる神輿（みこし）や壇尻（だんじり）の図、木造建築の細部を引き立てる木鼻（きばな）、虹梁（こうりょう）、墓股（かえるまた）などの建築装飾部材の下図、明治期になって富裕者からの注文で取り扱うようになった住宅、数寄屋、茶室などを設計するためのさまざまな資料もあり、宮大工が培ってきた技術と教養・文化を知ることができます。



田淵勝義 蓮昌寺仁王門の立面図 明治24年作図、建物は昭和20年焼失、個人蔵・当館寄託品

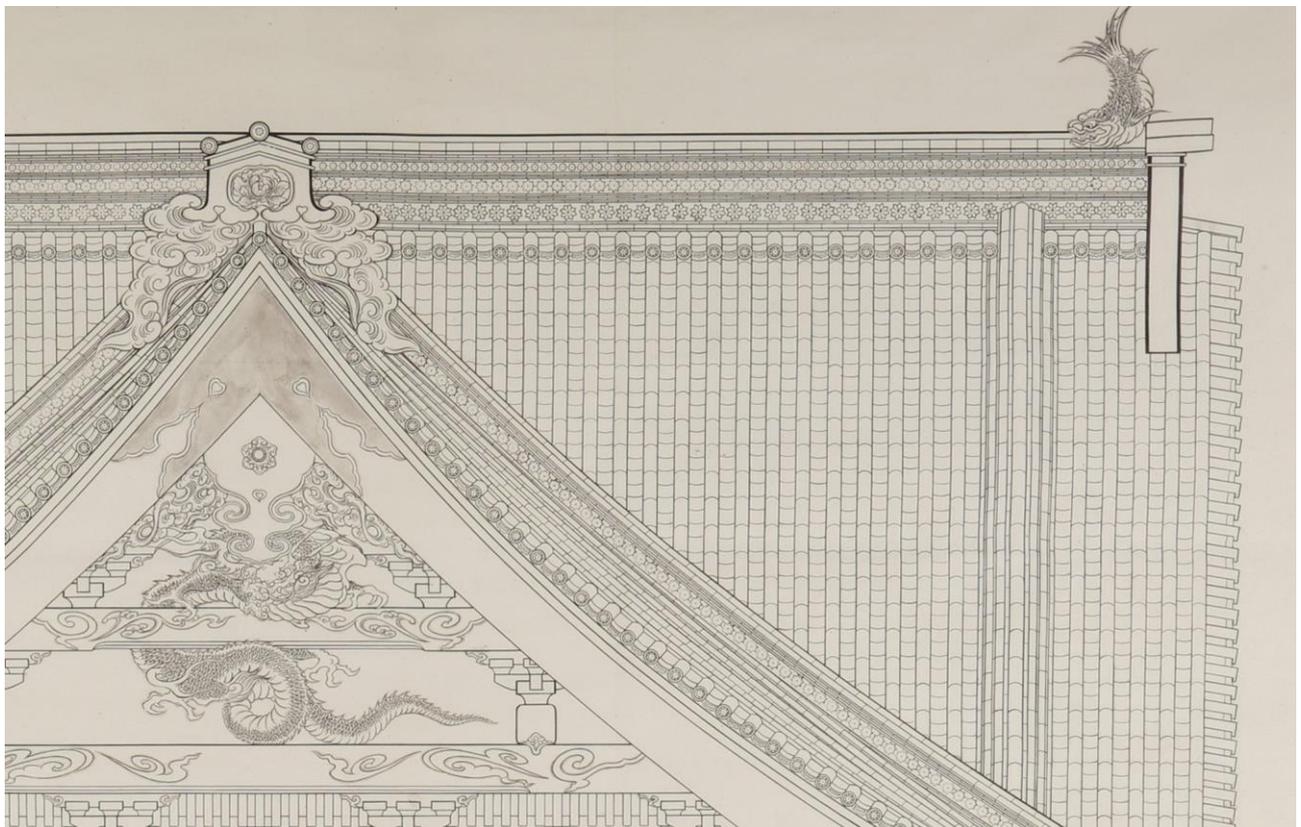


古写真にみる戦災前の蓮昌寺の境内（左）と仁王門（右）（パネルで参考展示）

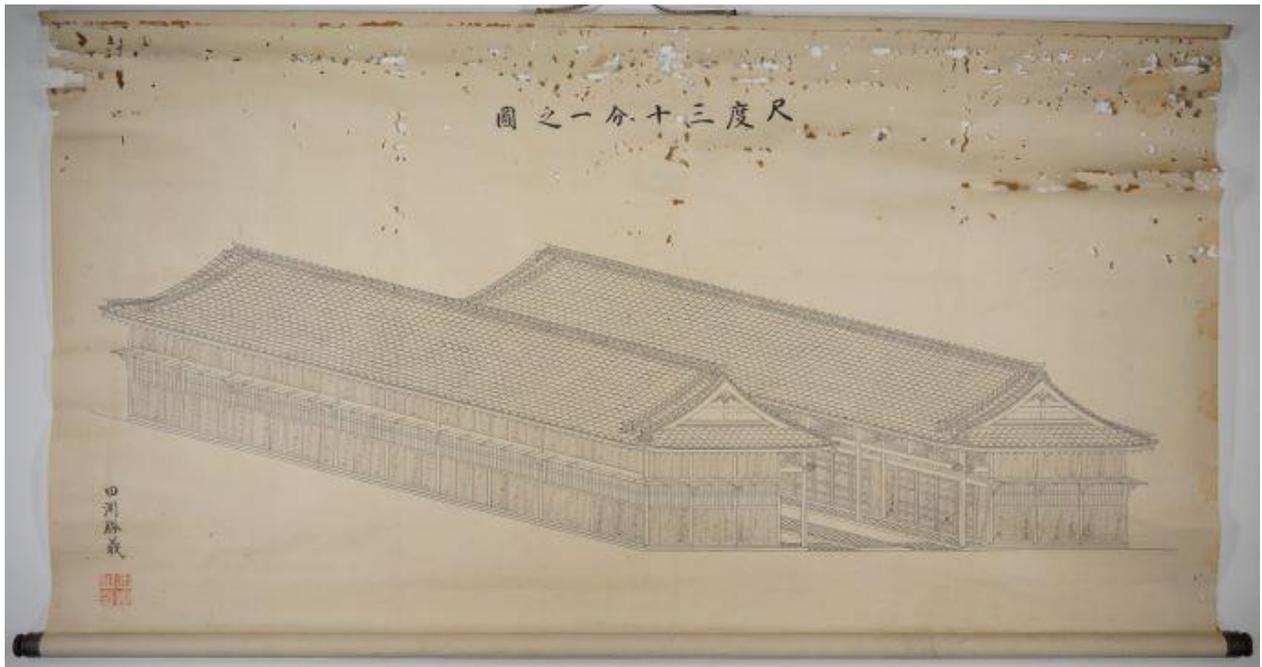


田淵勝義 御影堂の図

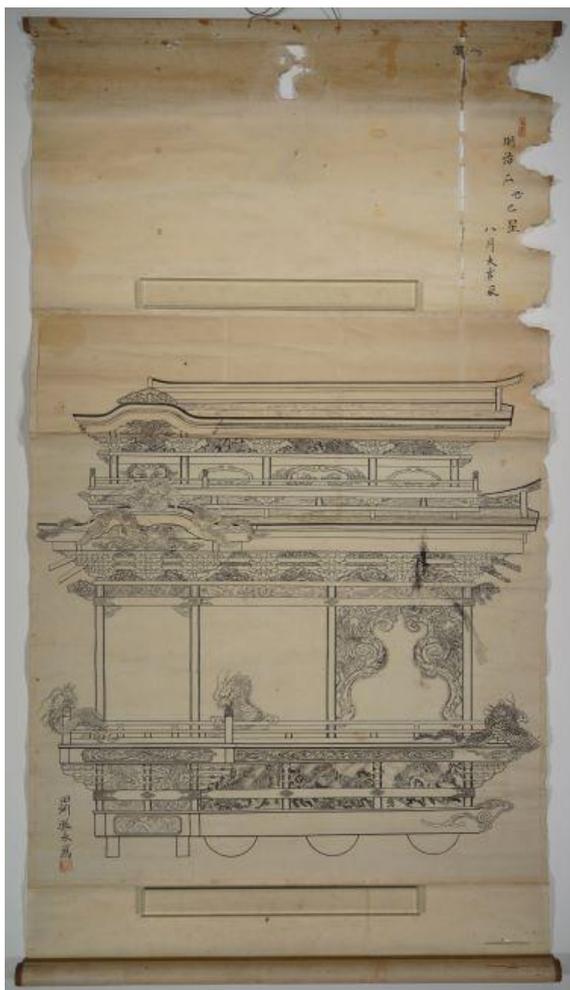
明治 23 年作図、個人蔵（当館寄託品） 正面と側面を 1 枚に書き表しています



上掲図の細部



田淵勝義 岡山招魂社の幄舎の建図 明治27年作図 当館蔵



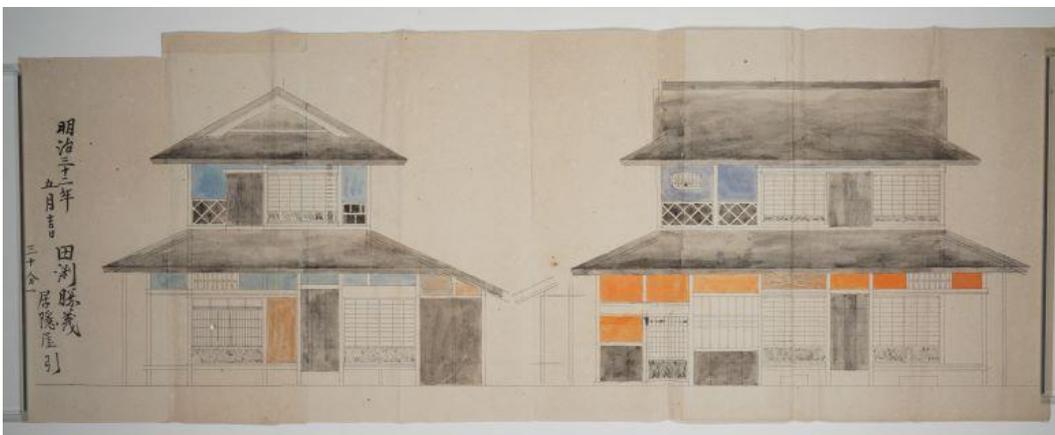
田淵勝義 壇尻図 明治2年作図 当館蔵



田淵勝義 安仁神社建図 明治8年作図 個人蔵（当館寄託品）



建築の装飾部分（木鼻）の下図 当館蔵



田淵勝義 住宅図 明治32年作図 当館蔵